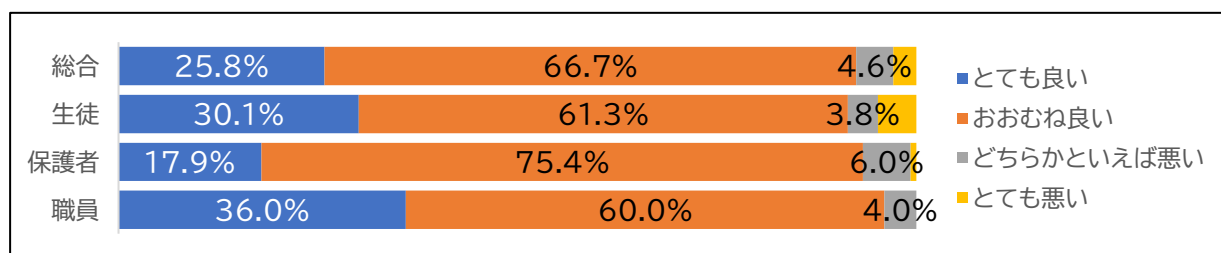


## 学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。昨年度に引き続き、Webアンケートにて実施をいたしましたところ、全校の回答率70%、多くの自由記述によるご意見をいただきました。回答率が若干低めではありますが、日頃よりご理解ご協力を賜りありがとうございます。

それぞれの設問についてみますと、総じて、「とても良い(そう思う)」「おおむね良い(そう思う)」が80%以上のものが多く、白馬中学校の取り組みを肯定的に受け止めていただいていることに、私たちの頑張りも報われる気がして嬉しく思います。一方で貴重なご意見も頂戴しております。今後の学校運営にご示唆いただけたことに感謝申し上げ、直ちに改善できることは改善し、教育の充実を図っていきたく思います。自由記述でのご意見ご感想につきましては、現段階での方向性についてレスポンスさせていただきました。ご理解ご協力をいただければ幸いです。また、半数以上の方から心温まるご意見ご感想も頂き、学校職員一同励みとなるところです。これも、明るく素直な子どもたちがいて、温かで寛容な保護者の皆様がいるお陰であると心から感謝しております。このような皆様に支えられ白馬中学校が進んでいることに心から御礼申し上げます。

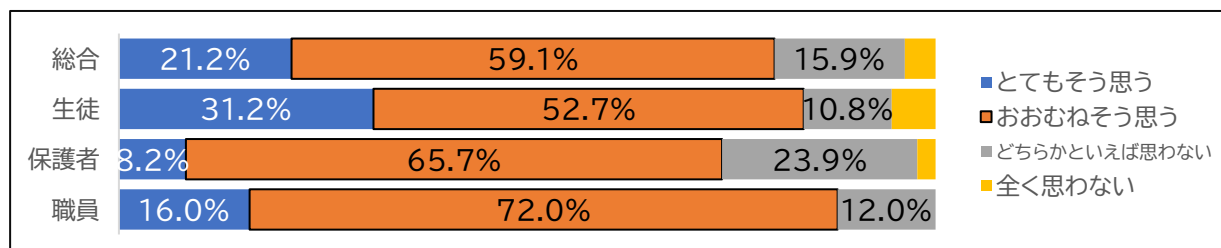
設問1 全体として、白馬中学校の教育活動をどう思いますか？



学校教育目標を「たのし うれし 白馬われら」として3年目となりました。今年度はスローガンを「未来へつなぐ」とし、特に「ICTの活用」と「SDGsの推進」、「HISとのつながり」を重点に掲げ、あらゆる教育活動で意識して取り組んで参りました。例えば、1年総合 DAY、4年ぶりの宿泊の唐松岳登山、2年職場体験学習、宿泊学習、HISとの合同授業、3年奈良京都への修学旅行、全校でのSDGsミーティング、総合発表会、白馬未来図などですが、これらの一つ一つで、「たのし うれし 白馬 われら」を意識できたように思います。

このような取り組みが、90%を超える肯定的な評価につながったと思います。今後も、地域の皆さんと連携しながら、努力や工夫を重ね、子どもにとって充実した教育活動を推進して参りたいと思います。

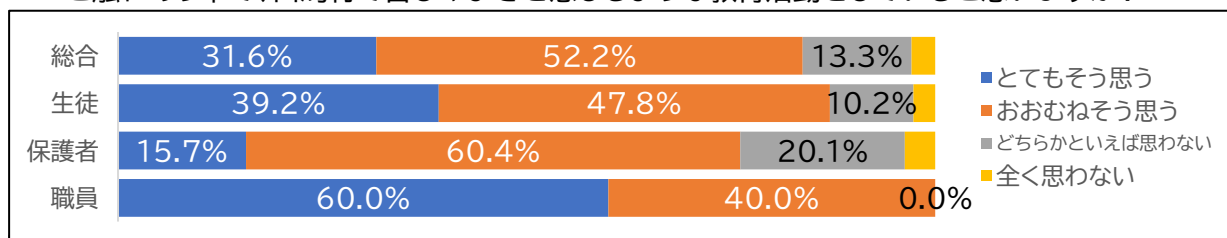
設問2 授業は工夫されていて、お子さんは授業内容を概ね理解できていると思いますか？



多くの生徒が肯定的に評価してくれており、生徒がICTを活用しての、「対話的で協働的な学び」「個別最適な学び」を意識した授業をしてきた成果の表れかと感じています。

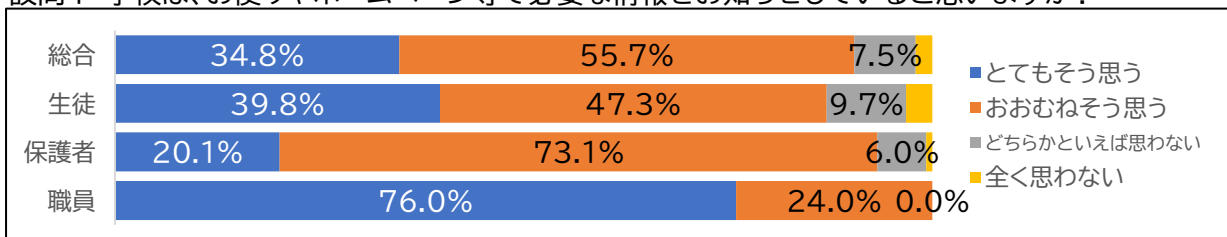
一方で、満足していない人の割合は、生徒が16.2%、保護者が26.1%、職員が12.0%に及びます。これは、生徒の学習意識の高さや、保護者や職員の生徒の学習への期待の表れかと思しますので、今後も職員研修や教科会の充実を図り、さらに授業を充実して参りたいと思います。

設問3 総合的な学習の時間や奉仕活動・ボランティア活動などを通して白馬村のひと・こと・ものと触れあう中で、白馬村で喜びやよさを感じるような教育活動をしていると思いますか？



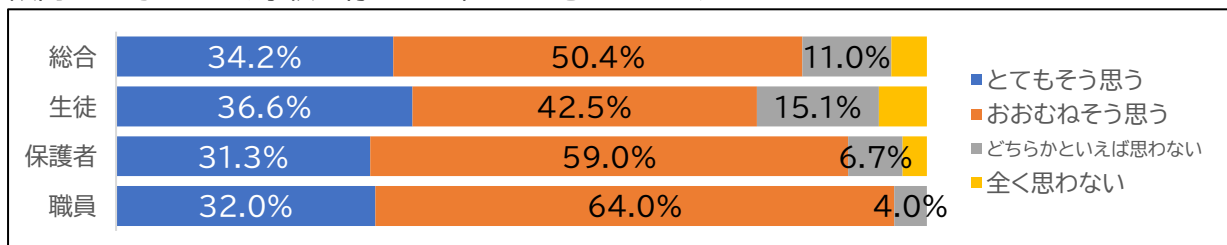
昨年度と同様、88%を超える生徒が肯定的に評価してくれました。学校教育目標との関連から、白馬に生きる喜びを実感するよう意識しています。白馬クラシックなどボランティア活動がより充実するように、地域と連携して取り組んだことや、SDGs ミーティング、白馬未来図など様々な場面で地域の皆様に未来的視点を持って積極的に関わっていただけていることが、白馬村で生活することに対する喜びやよさを実感することにつながっていると感じています。今後、職場体験活動をはじめ、地域と協働ですすめる総合的な学習の時間の充実を積極的に進めて参りたいと思います。

設問4 学校は、お便りやホームページ等で必要な情報をお知らせしていると思いますか？



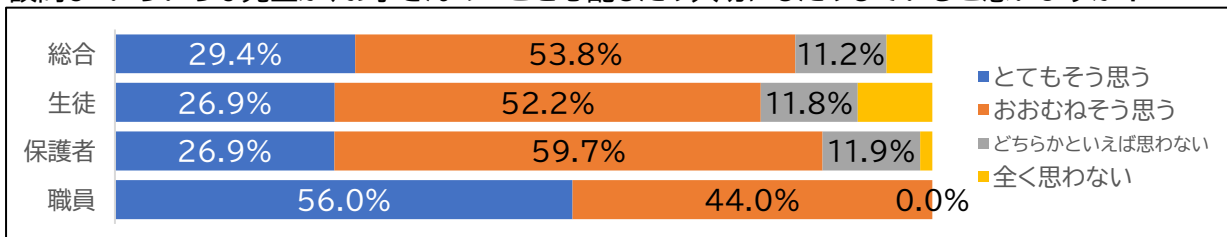
昨年度同様の高評価をいただきました。学校からのお知らせについては、絆メールに加え、白馬中ホームページを活用することで、学校全体のペーパーレス化の推進にもつながっています。しかし、紙文書以外の連絡手段が複数あることで、ご家庭に混乱を招いてしまっている面も、寄せられた自由記述からわかってきました。絆メールのリンクからホームページにある文書を直接閲覧できるようにするなど改善していくよう検討して参ります。

設問5 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと感じていますか？



90%を超える保護者の皆様から、肯定的な回答をいただきました。しかし、21.0%の生徒が否定的な回答であったことは、学校として重く受け止めなければならないことです。他の設問の結果と併せると、本校の学校行事に関わる教育活動の推進については全体的には良さそうですので、「授業に満足していないこと」「友だちや先生との関係」「学力や進路」などについて、より意識しながら、生徒全員が「楽しい」と思える学校生活となるよう、努力して参ります。

設問6 いろいろな先生が、お子さんのことを心配したり大切にしたりしていると思いますか？



全体としては、80%を超える肯定的な回答をいただきました。また、アンケート自由記述欄で、保護者の方から、多くの感謝の気持ちを伝えていただき、生徒との関わり・支援に対し、一定の評価が得られていることを嬉しく思います。一方で、生徒の否定的な回答が20.9%(うち、全く思わないが9.1%)あることを設問5と同様に重大なことから受け止め、今後も教師一人一人が生徒一人一人の思春期特有の複雑な思いに寄り添い、存在をまるごと受け入れるように努めて参ります。また、そのための研修や相談しやすい環境づくり、成長に寄り添う時間の確保を工夫して参りたいと思います。